

	東武東上線	東武鉄道(伊勢崎線・日光線他)	東武鉄道が合併した路線
明		<p>会社設立 (伊勢崎線)と(亀戸線—明治 37 年のみ)</p> <p>北千住～久喜、開業 吾妻橋～北千住、開業 曳舟～亀戸、開業(亀戸線) 経営建て直しのため根津嘉一郎氏を初代社長に迎える。 吾妻橋～足利町(現足利市)開業 足利町～太田開業 3 月吾妻橋駅を浅草駅に改称 7 月伊勢崎全通(浅草～伊勢崎)。 (注)当時の浅草駅は現在のとうきょうスカイツリー駅の場所で、今の浅草駅とは異なる。</p>	
治	<p>明治 30 年(1897)</p> <p>明治 32 年(1899)</p> <p>明治 35 年(1902)</p> <p>明治 37 年(1904)</p> <p>明治 38 年(1905)</p> <p>明治 40 年(1907)</p> <p>明治 42 年(1909)</p> <p>明治 43 年(1910)</p> <p>明治 44 年(1911)</p>	<p>東京の巣鴨から上州の渋川まで鉄道を敷設する目的で「東上鉄道」を設立。代表に東武鉄道の建て直しに腕を振るっていた根津嘉一郎氏を迎える。</p>	<p>(野田線) 野田線の歴史は千葉県営軽便鉄道が柏～野田町(現野田市)の営業を開始したのがスタート。</p>
大	<p>大正元年(1912)</p> <p>大正 2 年(1913)</p> <p>大正 3 年(1914)</p> <p>大正 5 年(1916)</p> <p>大正 9 年(1920)</p> <p>大正 12 年(1923)</p>	<p>池袋～田面沢(たのもざわ)開業 川越町(現川越市)～坂戸町(現坂戸)開通。 田面沢駅は廃止。</p> <p>7 月東武鉄道と東上鉄道が対等合併、存続会社は東武鉄道で、東上鉄道は東武東上線となる。</p> <p>坂戸町～武州松山(現東松山)開通、同年末に小川町まで延伸。</p>	<p>(佐野線・桐生線) 佐野鉄道(館林～葛生)を合併(現佐野線)、 太田軽便鉄道(太田～赤城)を合併(現桐生線)。</p> <p>(野田線) 大正 12 年(1921)設立の北総鉄道が 7 月に千葉県から(柏～野田町)の路線を譲り受け、8 月から同社野田線として営業開始。12 月には船橋線(船橋～柏)を開業。</p>

正	大正 14 年(1925) 大正 15 年(1926)	小川町～寄居間開通、 池袋～寄居間全通。		野田町から東武鉄道粕壁(現春日部)駅をを経て省線大宮駅を結ぶ認可を取得。
昭	昭和 4 年(1929)		(日光線) 日光線は伊勢崎線の杉戸(現東武動物公園)から分離し、東武日光までを結ぶ路線である。  4 月杉戸～新鹿沼 7 月新鹿沼～下今市 10 月下今市～東武日光と急ピッチで杉戸～東武日光を全通させる。	(野田線) (北総鉄道から総武鉄道に)  9 月野田町～清水公園開通。 11 月社名を北総鉄道から総武鉄道に改称。 (総武本線の総武鉄道とは無関係) 12 月大宮～粕壁開通
和	昭和 5 年(1930)			10 月粕壁～清水公園、開通 大宮～粕間の直通運転開始。 (野田線)

(2)東武鉄道②

'No.4

		東武東上線	東武鉄道(伊勢崎線・日光線他)	東武鉄道が合併した路線
昭	昭和 6 年(1931)		(宇都宮線)と(大師線) 8 月東武宇都宮線(新栃木～東武宇都宮)全線開通。 12 月西板線として(西新井～大師前)開通。 西板線は昭和 22 年(1947)大師線に名称変更。	
	昭和 12 年(1937)		(伊勢崎線) 5 月浅草雷門駅開業、昭和 2 年に開業した東京地下鉄道の銀座線と接続した。旧浅草駅は業平橋駅と改称。	(小泉線) 上州鉄道(館林～西小泉)(太田～東小泉)を合併。(現小泉線)
	昭和 18 年(1943)	越生鉄道(坂戸町～越生)を合併(現越生線)。	12 月熊谷～妻沼間開業(妻沼線)。	(鬼怒川線)。 5 月下野電気鉄道(下今市～新藤原)を合併。(現鬼怒川線)

和	昭和 19 年(1944)		(野田線) 3月陸上交通事業調整法に基づき東武鉄道が総武鉄道を合併。 (大宮～柏)が東武野田線、(柏～船橋)が東武船橋線に。
	戦後の東武鉄道・他社路線との相互乗り入れ他		

	東武東上線	伊勢崎線・日光線他
昭	昭和 20 年(1945)	10月 浅草雷門駅を浅草駅と改称。
	昭和 23 年(1948)	9月 10日野田線(大宮～柏)と船橋線(柏～船橋)を統合して、大宮～船橋間を東武野田線とする。
	昭和 24 年(1949)	4月秩父鉄道への片乗り入れ開始。
	昭和 37 年(1962)	5月伊勢崎線北越谷～営団地下鉄日比谷線、人形町間で、相互直通運転開始。
	昭和 39 年(1964)	5日日比谷線が北千住～中目黒間全通。相互直通運転区間が北越谷～中目黒～東急東横線、日吉まで延長。
	昭和 41 年(1966)	9月伊勢崎線の直通運転区間が北越谷から北春日部まで延伸。
	昭和 56 年(1981)	3月杉戸が東武動物公園と駅名改称。日比谷線との直通運転区間が同駅まで伸びる。
	昭和 58 年(1983)	6月東武熊谷線(旧妻沼線)廃止。
	昭和 61 年(1986)	10月第3セクター経営方式の野岩鉄道が会津鬼怒川線(新藤原～会津高原・会津高原尾瀬口)開業。 東武鉄道、浅草や栃木から相互直通運転開始。
	昭和62年(1987)	8月帝都高速度交通営団(略称、営団地下鉄)有楽町線との相互直通運転開始。森林公園、和光市～新富町。
和	昭和 63 年(1988)	6月営団有楽町線が新富町から新木場まで延伸。相互乗り入れ区間が新木場まで伸びる。 8日日比谷線経由、東横線との直通運転区間が菊名まで伸びる。

## 戦後の東武鉄道・他社路線との相互乗り入れ他

	東武東上線	伊勢崎線・日光線他
平成2年(1990)		10月会津鉄道会津線、会津高原(現会津高原尾瀬口)～会津田島間電化にともない、直通運転が会津田島まで伸びる。
平成4年(1992)	秩父鉄道への乗入れ中止。	
平成6年(1994)	12月有楽町新線(現副都心線)小竹向原～新線池袋(現副都心線池袋)開業により、新線池袋駅まで相互直通運転開始。	
平成15年(2003)		3月営団地下鉄半蔵門線押上駅開業に伴い、日光線南栗橋駅から伊勢崎線經由半蔵門線渋谷、さらに半蔵門線と相互直通運転をしていた東急田園都市線の中央林間駅との相互直通運転を開始。
平成16年(2004)	4月1日帝都高速度交通営団地下鉄が民営化で東京地下鉄(東京メトロ)となる。	
平成18年(2006)		3月18日東京メトロ半蔵門線と東武伊勢崎線との相互直通運転区間が久喜まで伸びる。久喜～中央林間の相互直通運転開始。  3月18日JR東日本宇都宮線と相互直通運転開始。 新宿～東武日光、新宿～鬼怒川温泉で特急車両「スペーシア」運行。
平成20年(2008)	6月東京メトロ副都心線の開業に伴い森林公園駅、川越市駅、志木駅等と渋谷駅との間で直通運転開始。	
平成24年(2012)		3月17日業平橋駅をとうきょうスカイツリー駅と改称。 同日伊勢崎線浅草～押上～東武動物公園の路線の愛称名を「東武スカイツリーライン」と呼称。
平成25年(2013)	3月16日東京メトロ副都心線を経由して、東急東横線、横浜高速	3月16日東京メトロ副都心線と東急東横線の相互直通運転の開始と同日、東京メトロ日比谷線と東急東横線との直通運転が休止となり、中目黒駅は双方の連絡駅となる。

成	平成 26 年(2014)	鉄道みなとみらい線との直通運転開始。東上線の川越市や和光市から、横浜元町・中華街まで乗換え無しで到達。	同時に日比谷線との直通運転区間が日光線の南栗橋まで伸びる。  4 月 1 日東武野田線の愛称を「東武アーバンパークライン」として使用開始。
---	---------------	---	---